

## ■第1回「学校を考える会」で提出された質問と回答

前回提出いただいたシートのうち、「質問」については内容を損なわない範囲で要約をさせていただいております。

また、1つのシート内に複数の質問や意見と質問等を併記いただいた場合には、内容等に応じて文章を分け、個別に回答している場合があります。

No	質問(要約)	回答	年代
1	なぜ会の名前が「篠岡地区を考える会」なのか。篠岡小、中学校を中心に考えているような印象を与えないか。	小牧市では市域を6つに分け、それぞれ旧行政区の名称などから「小牧南地区」「小牧地区」「中下地区」「味岡地区」「篠岡地区」「北里地区」と呼称しております。そのうえで、篠岡地区全体で学校再編を考えていく必要があることから、総称として「篠岡地区の学校を考える会」としております。 なお、篠岡地区における学校再編計画(案)については、第2回の「考える会」でお示しをさせていただきます。	40代
2	学校再編に係るイメージはあるか。また、考える会での議論に時間を要する場合、数年間、同じ委員で議論するのか。	篠岡地区における学校再編計画(案)については、第2回の「考える会」でお示しをさせていただきます。 学校再編は喫緊の課題であり、早急に対応をしていく必要があると考えておりますが、仮に会議が複数年にわたった場合、委員が交代になることがあります。	50代
3	この会の着地点はどういうところになるのか。3回の会の案内をもらっているが、どのように話し合いを進めていくのか。	市教育委員会としては、子どもたちの教育環境の改善のため、早急に学校再編計画を策定する必要があると考えております。 委員の皆様には、それぞれの立場からご意見等をいただきながら、最終的な計画(案)の取りまとめまでご協力をいただきたいと思っております。 なお、第3回以降の内容については、今後の会議の進捗状況を見ながら、都度、ご案内させていただきます。	40代
4	次回の会はいつか。	今後、広報やホームページ、保護者連絡アプリ(tetoru)等により、会議の日程等についてお知らせさせていただきます。 なお、第3回の会は、6月27日(金)午後7時から東部市民センター講堂にて開催を予定しています。	30代
5	人口減少という推計だけで学校再編を検討するのではなく、篠岡地区で人口減少が起きる原因を基にした議論が必要と思う。こうしたことを会議で検討し、市に提案することはあるのか?	人口減少やこれに伴う諸課題は、我が国全体の人口構造的な問題であり、少なくとも学校再編とは異なる視点での対策が必要であると認識しております。 現在のところ、「考える会」の中で人口減少への対策等について議論をいただく予定はございませんが、再編計画が具体化する中で、多くの子どもたちや保護者に支持いただけるような魅力ある学校づくりを検討してまいりたいと考えております。	30代
6	委員はどのように選出されたか。	各学校に対し、①小中学校教職員、②PTA関係者、③学校運営協議会から委員の推薦を依頼するとともに、篠岡地区区長会からも委員の推薦を依頼しております。 市としましては、推薦を受けた方に対し委員の就任をお願いしたものであります。	-
7	「考える会」に、未就学児を抱えるような未来を作る若手層の委員が含まれていないと当事者意識の欠けるように思うが、委員の構成詳細は示されているか。	「考える会」の委員は①小中学校教職員、②PTA関係者、③学校運営協議会委員、④地域代表者で構成されており、第1回会議の議事録等とともに市ホームページで公開しております。 PTAや学校運営協議会には現役世代の方も多いため、当事者としてのご意見が頂けるものと考えております。	30代
8	築年数の古い学校(篠岡小学校)の建て替えは決定なのか? 建て替えない場合、築年数の新しい学校に統合という理解で良いか。また、各学校の敷地面積等を教えてほしい。	篠岡地区における学校再編計画(案)について、比較検討が可能な各種データ等も含め、第2回の「考える会」でお示しをさせていただきます。 なお、篠岡地区の各学校の敷地面積については、下表のとおりです。	40代
9	一学年一クラスという学校が存在するところからすると早急に段階的な学校再編を進めるべきだと思う。次回、どのような再編が考えられるか、比較検討できるような資料を示されたい。	また、篠岡地区の各学校の教室のうち、普通教室(に転用可能な教室)数については、下表のとおりです。	50代
10	篠岡地区の学校再編をするにあたり、各学校の教室数などのキャパシティや再編に伴う増改築の可否を示されたい。	児童数と教室数のバランスを見ながら、仮に既存校舎を活用するのであれば、校舎の大規模な増改築の必要がない再編を行う考えをしております。	30代
11	学校の選定について、「古くからある」という理由だけで篠岡小にすると聞いた。陶地区からの距離を考えると桃ヶ丘小が適当と思うが、なぜか。	再編後の学校については、第2回の「考える会」でお示しをします学校再編計画(案)の中で市の考え方をご説明させていただきます。	30代
12	遠距離通学で公共交通機関を活用する場合、運行本数やダイヤの見直しもされるのか。		50代
13	アンケートで「通学時間」への懸念が多い中、小学校1校は理解が得られないのではないか。	子どもたちが安心して学校に通うことができるよう、通学距離や学年等を考慮し、必要に応じて自転車による通学や公共交通機関の利用、スクールバスの導入等を検討します。 詳細は、再編計画を具体化していく中でお示しをさせていただきます。	70代
14	小学生、特に低学年に30分以上歩かせるのは、近年の酷暑に見るに大変だと思うが、通学手段はどうするのか。		30代

No	質問(要約)	回答	年代																
15	学校は避難所としての役割もあると思うが、再編後も老朽化した体育館を避難所として使うのか？	学校は地域スポーツや防災など地域の重要な拠点となっていることから、学校再編後も、地域スポーツなど地域住民の交流の場や災害時の避難所としての機能を維持していくために、体育館やグラウンドについては、基本的に残していく必要があると考えています。 なお、体育館等の建築年度は下表のとおりです。	-																
16	避難所としての機能が失われる点はどのように考えているのか。(学校がなくなる場合)	<table border="1"> <tr> <td>篠小</td> <td>桃小</td> <td>陶小</td> <td>光小</td> <td>大城小</td> <td>篠中</td> <td>桃陵中</td> <td>光中</td> </tr> <tr> <td>S52</td> <td>S51</td> <td>S59</td> <td>S62</td> <td>H1</td> <td>H5</td> <td>S57</td> <td>H1</td> </tr> </table>	篠小	桃小	陶小	光小	大城小	篠中	桃陵中	光中	S52	S51	S59	S62	H1	H5	S57	H1	30代
篠小	桃小	陶小	光小	大城小	篠中	桃陵中	光中												
S52	S51	S59	S62	H1	H5	S57	H1												
17	再編後、現在の校舎は別に活用する計画か？ (民間へ委託、施設利用継続、緊急時は避難場所など)	学校再編後の施設(敷地や建物)のあり方については、学校再編について一定の方向性が定まり次第、市全体で検討をしております。 しかしながら、安易に校舎を残して行政で活用していくことは、多額の維持管理費や改修費が必要になることから、市としては慎重に考えています。	50代																
18	学校再編後の建物はどうなるのか、利活用を考えているのか。		70代																
19	東部の活性化とあわせて、児童生徒数の増加も期待できるのではないのか。	小牧市では、これまでも子どもや子育てに関する様々な施策を重点的・総合的に推進してきましたが、現実的には人口増加ということは見込み難く、人口減少やこれに伴う諸課題は、我が国全体の人口構造的な問題であると考えています。 学校は、地域交流や防災などの拠点として、まちづくりを語るうえで欠かすことのできないものですが、一義的には教育施設であり、子どもたちの学びを保障するため、教育的な課題を置き去りにはできないことから、できるだけ速やかに再編を実施する必要があります。 学校再編により、魅力ある学校づくりを進めていくことで、まちづくりに貢献することができると考えています。	70代																
20	校舎の老朽化は、耐用年数等から元々わかっていたと思うが、その分の予算取りなどはしていないのか？ 次はどこの小・中学校など、優先順位は決まっているのか？	基本的には老朽化等の状況により建築年数順で整備していくこととなりますが、第1回会議でお示ししたとおり、市内25小中学校を目標耐用年数以内に計画的に改築していく場合、およそ2年に1校ずつ工事着手していく必要があります。 これはより厳しさを増す市の財政状況からも現実的ではないことから、今後、児童生徒数の状況や将来の教育環境を見据えた学校施設整備を行っていく必要があります。	40代																
21	第1回資料P12の高年齢層の反対の理由はどういったものか？	今後、地域への説明会などを行っていく中で把握してまいります、「わからない」と答えた高年齢層も多くみえたことから、今後学校再編の背景や具体的な内容について丁寧に説明していく必要があると考えています。	40代																
22	早急に段階的な再編が必要と理解できたが、再編を急ぐことで想定されるデメリットなどがあれば示されたい。	他市町の事例等を見るに、学校再編を進める際には、子どもたちの環境変化に伴う心身への負担軽減や関係者への周知と準備、地域住民の心情などへの配慮が必要と考えております。 市としては、早急に段階的な再編を行うことで子どもたちの教育環境の充実を図ることこそが最も重要であるとの認識から、今後、より丁寧な対応や説明の機会を設けていくとともに、再編以前からの学校間交流を計画的に実施することで、課題の解消に努めてまいりたいと考えております。	50代																
23	クラス替えができないと何が問題なのか。 全国の1学年1学級で起きている問題等を示されたい。	他市町の先行事例に見るに、1学年1クラスになる場合の課題については、 ①クラス替えができず、人間関係が固定化しやすい。 ②日々の学校生活の中で、多様な考え方や価値観に出会い、社会性や協調性、コミュニケーション能力を伸ばす機会が限られる。 ③クラス同士が切磋琢磨する教育活動ができない。 ④運動会や文化祭等の集団教育活動に活気が生じにくい。 ⑤体育の球技や音楽の合唱のような集団学習、班活動やグループ分けに制約が生じる。 ⑥部活動等の設置が限定され、選択の幅が狭まりやすい。 などの課題があると指摘されています。 学校教育では、子どもたちが多様な考え方に触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、一人一人の資質や能力を伸ばしていくことが重要であると考えており、学校規模が小規模化することの様々なデメリットを解消するために、学校規模を適正規模にできるだけ近づけていくことが必要であると考えています。	60代																